

JVC

JVCケンウッド

JVCケンウッドは、JVCブランドから、ネットワーク経由で映像・音声を送受信できるPTZ（パン・チルト・ズーム）リモートカメラ「KY-PZ510N」を9月16日に発売した。同機は4K60pのストリーミング出力と水平画角80度の広視野角、自動追尾機能を搭載した製品で、本製品の発売により同社のリモートカメララインアップは全5種類となった。ユーザーは幅広い製品の中から用途に応じて必要な機器を選ぶことができる。

同社のPTZリモートカメラは、議会議場や講義の収録、コンサートなどのライブ配信・撮影などの用途で好評を得てきた。今回、さらなる高画質化やリモート機能の強化、最新のIP伝送機能搭載などの市場ニーズを受けて「KY-PZ510N」を発売した。同機は、議会議場や講義の収録、コンサートなどのライブ配信・撮影などの用途で好評を得てきた。今回、さらなる高画質化やリモート機能の強化、最新のIP伝送機能搭載などの市場ニーズを受けて「KY-PZ510N」を発売した。



KY-PZ510N



(製品ページ)

PTZリモートカメラ

「KY-PZ510N」発売

4K60p IP配信を実現

水平画角80度の広視野角 自動追尾機能も搭載



(左から) KY-PZ510Nを手にする山田氏と藤原氏、KY-PZ400Nを持つ営業担当の古川寛氏

それがまず、比較的求めやすい価格で4K60p出力に対応した製品ということになります」と説明する。主な市場には4つの市場を考えたという。山田氏は「コロナ禍で変革を余儀なくされた学校での授業配信と、企業のウェビナー、学生あるいは、プロでも規模の小さいスポーツチームの試合の配信や宗教施設による配信などを想定しました」と話す。同機は伝送機能として、米国NewTek社が開発したNDIプロトコル（バージョン5）を採用するなど強化。ミニマ

ます（山田氏）。さらに、ウェブ会議用カメラとしても利用できるよう、同社業務用スマートフォン（課長主事）は「この製品には、目に見えない端映していません」と話す。

同社はこれまで4製品のリモートカメラを発売してきた。2016年には、高倍率光学30倍ズーム搭載、俊敏かつ静粛性に優れたHD PTZリモートカメラ「KY-PZ100」システムを発売し、議会議場などで利用されてきた。

同機はHDMIとSDI、ストリーミングの同時出力が可能で、MicroSDカードスロット搭載により、内部記録とループ記録に対応。ダイレクトドライブ機構の採用により、静音で俊



KY-PZ100W



(製品ページ)

多彩なバリエーション 5製品をラインアップ



KY-PZ400N



KY-PZ200



(製品ページ)

今回新たに発売するKY-PZ



(製品ページ)



KY-PZ200N



(製品ページ)

制作市場向けカムコーダーで培った画質・機能を投入

したHDエン트리リモートカメラ「KY-PZ200」先端の技術を取り入れた「KY-PZ200」の製品は、業務用カメラとして採用した画質・機能を進化させて搭載しています。お客様には、いずれも当時の市場状況をとらえた製品で、活用していただきたいと考えています」と話している。今後は同社PTZリモート製品の活躍が楽しみです。

子以外にさまざまな伝送プロトコルを搭載しています。これは当社がこれまでカメラ開発で培ってきた「1つの筐体に多彩な技術を搭載し、お客様が使いやすいシステムとする」という理念を反映しています」と話す。